

広報 第 107 号



のむら

2022年12月

令和4年

発行人 区長 長井通好
 編集 広報委員会
 事務局 TEL・FAX0795-23-4639
 世帯数 2,926世帯(野村町)
 人口 7,152人(野村町)
 (11月1日現在)



「緑風台の初日の出」



村上
龍夫
総務・企画委員長

この度、野村町役員で総務・企画委員長を務めることになりました村上龍夫です。

総務・企画委員長を務めさせていただいておりますが、なかなかうまくいかず考え込んでしまう時がありますが、皆様に助けられ進めております。これからもいろいろとご迷惑をおかけいたしますが、皆様のご協力をよろしくお願ひいたします。

私は、野村町6区緑風台に住んでおり、6区の役員で班長をしていた時の新年度の新春登山で大変驚いた自然現象がありました。その山は緑風台のグリーンスポーツハウスがある裏山の登山道から、歩いて休憩所の東屋まで20～30分程度で登れる山です。ここの中山道は、前町内会長の三木様をはじめとする有志の方々が登山道を整備され大変歩きやすくなっています。ぜひ皆様も一度は登っていただきたいと思います。その驚いた自然現象というのを見たことがあります。その驚いた自然現象というのは『雲海』です。雲海を初めて見た時、こんな低い山で見ることができたことじたい大変な驚きでした。毎年、新年登山で登っています。是非みなさんも登つてみてください。一度は登る価値があると思いますよ。

いま、総務・企画委員で取り組んでいるのが住民台帳の件です。この住民台帳を、どのようにすれば緊急時に家族と連絡が取れ、役立っていく台帳となるのか検討しているところです。これからも町内の皆さまのご協力をよろしくお願いします。



秋の例祭 神儀「清めの儀」八坂神社 10月8日

早朝から公民館役員総出で、神社境内の枯葉一枚まで掃き清められ、正副区長をはじめ町内会長、各種団体の代表の方々が玉串奉奠を行い、五穀豊穰と、来年度はコロナ禍が収束し、本太鼓や神輿が一堂に会した秋祭りとなるよう祈念しました。

戦没者の慰霊 野村墓地 8月6日

野村町 遺族会 藤原 久司

「暑い8月6日」

「毎年8月は暑いもんだ」とツッコミ入りそうだが、昭和世代にとつてお盆の帰省、旅行よりも終戦の暑い夏を思い出す人も多いと思う。

8月6日は広島に原爆が落とされた日であり世界平和の日でもある。

野村墓地の戦没者墓標前で野村町遺族会と愛宕会が、野村区長にも出席いただき、戦没者の慰靈と世界平和を祈念して線香を手向けた。

戦争の悲惨さを経験したり学んだ人は多いはずなのに、未だに世界の何処かで戦争、紛争が無くならないのは、なぜだろうか……。

汗で湿ったハンカチをポケットにつっこんで空を見上げた時、戦争を経験しなくて幸運だったと思う暑い夏の一日だった。

町友会八坂神社清掃

7月24日

町友会(野村町役員歴任者の会)で八坂神社の清掃をしていただきました。

暑い中作業していただきありがとうございました。



ご長寿おめでとうございます

今年も去年同様、例年開催されている敬老会はコロナ感染拡大予防のため中止となりました。その代わり、対象の皆さんに敬老のお祝い品をお渡しました。



敬老金ってどんな種類があるんですか？



主催者	年 齢	金 額	対象人数	配布担当者
町づくり協議会	77歳以上	2,000円の商品券 (市1,750円+野村町250円)	850人	各班長配布
西脇市	99歳	20,000円	3人	女性会
	88歳	10,000円	32人	
野 村 町	100歳(大正11年度生まれ) 90歳(昭和7年度生まれ)	10,000円 3,000円	4人 30人	区長他 各会長

野村町の元気なお顔

毎日、天候や季節と対話しながら野菜を育て、少しづながら頭を使うこと。



2区 西山 久代さん 90歳

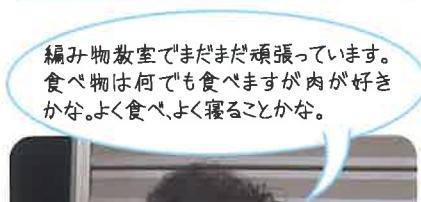


4区 藤永 米子さん 88歳

好き嫌いなしになんでも食べますし、毎日散歩するのが元気の秘訣!!



1区 村岡 誠子さん 90歳



編み物教室でまだ頑張っています。
食べ物は何でも食べますが肉が好きかな。
よく食べ、よく寝ることかな。



5区 安田 範男さん 90歳



4区 小谷 重治さん 88歳



2区 小西 節子さん 90歳

野村町の笑顔

送り火 ほっとライブ 100円買楽商店街 みらフェス

送り火
8月15日



ほっとライブ
9月23日～25日



「ほっと。」
活動歴7年
会員3人



「彩の風」

会員10数人
活動歴15年
週2回活動



事務局スタッフ

お世話になっています

施設管理者
久保さん



会計
井上さん



「木工倶楽部」

会員15名活動歴15年
毎(日)9:30～16:00
グリーンスポーツハウス
見学に来てください



同じ趣味を持つ仲間と一緒に長い間
活動をされおり、羨ましく思いました。



100円買楽商店街 みらフェス

10月30日



まだまだマスク生活が続いているが、色々な行事が復活し、皆で集えることの幸せを再認識しました。早くコロナを気にせずのびのび活動全開できるようになって欲しいですね。

人権文化をすすめる市民運動推進強調月間講演会

咲かそう! 人権文化の花を 西脇の地に



生きていればやりたい事が出来るきっと良い事がある。
一つしかない命、大切にしたいですね。
お二人とも、歌の力と言葉の力で国の大枠を超えて、人々との繋がりを大切に生きてこられた貴重なお話をでした。

もう一人の講師の朗読家阿部麻里さんの言葉です。阿部さんはお母様は33才で、ご本人は37才で共に夫を亡くされ大変なご苦労をされてきたそうです。
「言葉はその人の心を表現する。」「言葉をみがく。」

そして、人権講演会では、講師に、若くして大病を患い、一度は死を覚悟したと言うボーカリストの星千尋さん、迫力ある力強い歌声に圧倒され元気を頂きました。好きな歌を通して、海外の人たちを訪問し、多種多様な人との出会いを大切に交流を図つて来られました。
前田さんは、ひいおばあちゃんの死を通して、命の大切さを伝えました。
片岡さんは、「自分の鏡」と題して外国人人と接する中で違いを認め、偏見を捨てて向き合いたいと発表されました。

コロナ禍の猛暑の八月、みらいえ多目的ホールに於いて、野村地区人権学習会がおこなわれました。まず初めに、小、中学生の人権作文の発表がありました。重春小学校五年の前田健心さん、西脇南中学校二年の片岡心音さんです。

●町別学習会実施状況

区	日 程	場 所	人権課題
1区	10月7日	野村町公民館	同和問題
2区	11月25日	野村町公民館	子供の人権
3区	未定		
4区	9月30日	みらいえ	外国人の人権
5区	10月28日	みらいえ	性的マイナリティ
6区	10月23日	緑風台集会所	子供の人権
7区	11月26日	茜が丘集会所	子供の人権

命の大切さ　重春小学校五年 前田 健心

ぼくは、命をそまつにする人がきらいです。命をそまつにするということは、「一つの幸せがきえる」ということだと思っています。命はお金で買うこともできないし、もう「」ともできない。でも、一年の間に、何百万人の人の命がなくなっているということを聞いたことがあります。いつもニュースで見ると、「命をうばわれる」とは、とてもたいへんなどなんだ。」と思います。

ぼくは、おばあちゃんのお母さんがなくなつたことがあります。そのときは、とっても悲しい思いをしました。なぜなら、ぼくにとつて、ひいおばあちゃんは、大切なそんざいだったからです。たとえば、休みの日に遊びに行つたときに、いつもおかしをくれたり、いつしょに遊んでくれたり、いろいろなことをしてもらいました。「一番楽しかったのは、こしょこしょをしてもらつたときです。こしょこしょをしてもらうときは、なぜか家族みんなが、えがおになつてくれるので。ぼくの感情が見えてるのか、それとも樂しく見えたのかはわかりませんが、とにかく楽しかつたです。

でも、ある日とつぜん、ひいおばあちゃんが入院しました。そのときは、びっくりしました。子どもは入つてはいけないアイシーユーというところに、とくべつに入らしてもらいました。そのときに、ひいおばあちゃんに、「健心、だいじょうぶだよ。」と言わたることを、まだ覚えていました。ぼくは、「ふう」とあんしんしました。

そして、何ヶ月かたち、ひいおばあちゃんは、なくなつてしましました。そのとき、ぼくは、びっくりしたことを覚えていました。あと、ひいおばあちゃんが、かそう場といふところに入れられて、焼かれて骨になりました。ぼくが、保育園のときだったので、ちょっとよくわかりませんでした。でも、そのころのことは、よく覚えています。

だから、ぼくは、命は大切だと思います。ニュースで見ていても、「ふーん、そなんだ。」と思うだけだけど、いざ、前で見るとつたら、とても悲しいです。体験したことがない人が、たぶんおおぜいいるけれど、この気もちをわかつてくれたらしいなあと思います。そして、命をそまつにしないよい世界にしたいです。

自分の鏡　西脇南中学校一年 片岡 心音

いつものように、ネットサーフィンをしていたら、偶然見つけた言葉が、ずっと引っかかっています。それは、「韓国人だから仕方ない。」「これだから韓国人は。」というものでした。今、自分が見ているところしかわからないのに、なんで全体と同じように扱うのかわかりませんでした。でも、よく考えたら、自分も同じようなことをしていたと気づきました。それは、私が、まだ東京に住んでいた時の話です。私は、外国人が多い町で、生まれてからの十年間を過ごしました。そこには、ミャンマー人やアメリカ人、中国人など、色んな国の人たちがいました。もちろん、学校にも、多くの外国人の人たちがいました。

「小さい頃から、外国人の人たちにも慣れて、自然な気持ちで接することができるんじゃない。」と考える人もいると思います。でも、私には、それができませんでした。

私の住んでいたところは、外国人の人が多いだけあって、横断歩道を集団で渡る自転車に乗つた中国人や、コンビニで働いているフィリピン人なども、よく見かけました。そんな人たちを見て、私は避けました。なぜそんなことをしたかというと、「外国人は日本語がたどたどしくて話しくらいし、どうせ日本のことを理解してないでしょ。」と思っていたからです。日本人は、あまりしないようなことをしているのが理解できなかつた私は、外国人を否定することに走りました。外国人の人を否定するということは、学校でも落ち着いて生活できないことを意味しました。

二十七人のクラスに、五人くらい外国人がいました。当然、授業の内容次第では、その子たちと関わることもありました。そんな時、私は、態度に出すことはせずに、心の中で、悪態をつきながら、授業が終わるのを待ちました。おそらく、外国人たちは、私の心境に気づいていなかつたと思います。そんな私が、考えを変えたのは、一つの出来事をきっかけに、色々なことに気づいたからです。それは、いつも通りの何の変哲もない授業中でした。消しゴムを落としてしまい、拾おうとしたら、となりの席だったペルー人の子が、先に取つてくれました。その時は、特に気にしませんでした。でも、逆の立場だったら、自分はどうしていたかを考えたら、何もしなかつただろうと答えが出ました。

それを契機に、外国人たちの気づかいや優しさに、目を向けることができるようになりました。その日は、ずっとそのことを考えて、授業は頭に入つできませんでした。

消しゴム以外にも、体育でペアが組めなかつたときに組んでくれたり、同じ給食当番なのに手伝ってくれたり、小さな優しさは、色んなところにありました。目をそらし続けたら、どれだけ近くにあつても、気づくことはないけど、見ようと思えば、いくらでもそれはあるということに、気づくきっかけになりました。

これから私は、小さなところを見るよう意識し始めました。町で外国人を見かけても、心の中でも悪く言うのをやめるように、自分をしかりました。色んな人を、同じ目で見るようになつてからは、イライラすることが、前より減つて、一日を過ごすのが楽になりました。偏見を捨てて向き合うことは、今後の生活でも、どんどんしていこうと思いました。でも、そう思つていても、最初のようすに、他人事として見てしまうところがあります。他人は、ある一種の鏡として、見ていくうと思います。

野村町公民館サークル

参加ご希望の方は事務局へご連絡ください。

今回は3団体しかご紹介できませんでした。ほかのサークルは次号以降順次紹介させていただきます。楽しみにしておいてください。



貯蓄体操 おりひめ体操

毎(水)10時~11時

1階でされているので階段昇降無しです。



パソコン教室

毎(木)19時~21時 サークル員大募集中。
いつでもお気軽に見学にいらしてください。



女性の会

年4回研修や野村町行事のサポート、今回はフレイルのお話とヨガ体験を実施。会員大募集中。

公民館サークル活動グループ

カラオケ同好会	第1・2・3火曜日14:30~	代表 藤原 信子
貯筋くらぶ おりひめ体操	毎週月曜日 10:00~11:00	代表 神島 圭子
貯蓄体操 おりひめ体操	毎週水曜日 10:00~11:30	代表 藤原みつ子
貯筋クラブ 織姫体操	毎週金曜日 10:00~11:30	代表 片鶴 正子
毛筆サークル	第2・4土曜日 9:30~11:30	代表 生田なつ子

野村町公民館 茶道教室	第1・3土曜日 9:30~11:30	代表 井上 浩代
野々華の会	第2金曜日 19:00~21:00	代表 長浜 文子
パソコン教室	毎週木曜日 19:00~21:00	代表 清家 京子
明吟会(詩吟の会)	第1・3金曜日 13:30~15:30	代表 内橋実三郎
気功講座	第2・4土曜日 10:30~11:30	代表 前川 賀治
野村町公民館 卓球同好会	毎週月曜日 13:00~16:00	代表 前原 義継

車をこの頃、見かけない…等々
常々近くの方の様子も見て、声かけ
をし、安否確認をされています。
自分の事しか考えられない昨今、
洗濯物がずっと乾したままだ
か、…

野村町も高齢化が進み、一人暮し
の人が年々増加傾向にあります。
孤立している人がいないように、
皆で支え合って、さらに住み良い
町に、やさしい野村町に発展して
いって欲しいと思います。

生家の丹波市の田舎に比べると
ずっと町で、子育てにも環境が良く
とても住み良い町です。
近所に、一人暮らしの方の面倒
を良く見ておられる方がいます。
声かけはもちろんの事、買い物
や食べ物の差し入れ等…いつも
気に掛けたり話相手になつたり
して、優しく接しておられます。

野村町に移り住んで45年になり
ます。

広報委員
萬浪 友子

編集後記